

No.			
氏名		Deepayan Basu	
志向	開発分野	未入力	
	職種	未入力	
	領域	未入力	
	タイプ	未入力	
学歴			
2024	University	Masters	
言語/開発ツール			
言語		Python	
開発ツール		Git, VS Code	
インターンシップ			
3人チームで、Python/FastAPI/Reactを用い、投資家向けAI金融ダッシュボードを開発。収益報告書の解析、リアルタイム株価データ連携、感情分析、予測分析機能を統合し、ローカルLLM活用による低コスト・高効率な金融情報提供システムを構築。			
タイトル：		フルスタック開発担当として、FastAPI/Reactによるシステム設計、LLMチャットボット実装、フロントエンド開発、感情分析・因果関係解析の実装を担った。	
概要：		3人チームで、Python/FastAPI/Reactを用い、投資家向けAI金融ダッシュボードを開発。収益報告書の解析、リアルタイム株価データ連携、感情分析、予測分析機能を統合し、ローカルLLM活用による低コスト・高効率な金融情報提供システムを構築。	
エンドユーザー：		アプリを使用する一般ユーザー	
内容：		3人チームで、Python/FastAPI/Reactを用い、投資家向けAI金融ダッシュボードを開発。収益報告書の解析、リアルタイム株価データ連携、感情分析、予測分析機能を統合し、ローカルLLM活用による低コスト・高効率な金融情報提供システムを構築。	
具体的な内容 1		果たした役割（3人体制）： フルスタック開発担当として、FastAPI/Reactによるシステム設計、LLMチャットボット実装、フロントエンド開発、感情分析・因果関係解析の実装を担った。 ディープラーニングモデルの設計・訓練 データの収集と前処理 モデルの評価と改善	
課題：		クラウドモデルのレイテンシとコストの問題を解決するため、軽量ローカルLLM（Ollama, HuggingFace）をGPU加速で導入し、ChromaDBの最適化とキャッ	

	シュ層の追加により性能改善を実現。 -> マネージャーからの継続的な指導を受けつつ、自主学習を行った -> モデルに供給するためのデータを適切にクリーニングする必要があった -> 少量のデータセットを手動でチェックし、アルゴリズムを適用して検証した	
得られた成果	システム全体の技術設計を主導し、LLM統合と因果関係解析の実装を推進。チーム内でベストプラクティスの共有と、開発プロセスの効率化に貢献。	
直面した課題	クラウドモデルのレイテンシとコストの問題を解決するため、軽量ローカルLLM（Ollama, HuggingFace）をGPU加速で導入し、ChromaDBの最適化とキャッシュ層の追加により性能改善を実現。	
リーダー経験	システム全体の技術設計を主導し、LLM統合と因果関係解析の実装を推進。チーム内でベストプラクティスの共有と、開発プロセスの効率化に貢献。	
製品開発について		
興味を持つ理由		
果たしたい役割		
興味ある分野（左から1番→3番）		
未指定	未指定	未指定
日本企業について		
一番興味がある点		
習得したいこと		
キャリアアップについて		
3大優先要素		
興味ある役割		
日本語レベル		
性格	Diligent	